

名古屋大学≪工学研究科・講師または助教≫公募要領

1	募 集 件 名	講師または助教の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	大学院工学研究科化学システム工学専攻 先進化学工学システム講座（循環システム工学）	
4	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進化学工学システム分野の教育研究 ・二酸化炭素削減技術（回収、除去、利用、エネルギー効率向上等）に関わる要素技術やプロセス開発研究 ・工学研究科化学システム工学専攻の大学院生の教育および研究指導 ・工学部学生の教育 <p>（変更の範囲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構が指定する業務 <hr/> <p>[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区（東山キャンパス） （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所</p> <hr/> <p>[募集人員] 1名</p> <hr/> <p>[着任時期] 2025年9月1日以降、なるべく早い時期（採用時期については相談に応じます。）</p>	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	環境・エネルギー・自然科学・ものづくり技術
		小分類	循環型社会システム・地球資源工学、エネルギー・反応工学、プロセスシステム・触媒プロセス・資源化学プロセス
6	勤 務 形 態	<p>常勤</p> <p>（1）講師：常勤（任期なし） 契約期間：期間の定めなし。試用期間：あり（採用日から6か月）</p> <p>（2）助教：常勤（5年の任期あり、裁量労働制）。試用期間：あり（採用日から6か月）。任期中の業績、研究の進捗状況等を公正に評価の上、1回に限り再任可。なお、教育・研究の実績及び能力、教員としての資質等を審査し、上位職への昇格が相応しいと認められた場合は、任期中に上位職（任期なし）への登用が可能です。</p> <p>*東海国立大学機構教員の任期に関する規程 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110011019.htm</p>	
7	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士の学位を有している者（着任までに取得見込みを含む。化学工学、物理化学、機械工学、応用化学、触媒化学の分野で学位を取得していることが望ましい） ・日本語で教育・指導ができる者 ・大学院及び学部における教育やプロジェクト推進研究に熱意、責任感、協調性をもってあたる人物 	
8	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止 	

9	応募期間	2024年12月25日(水)～2025年5月9日(金)
10	応募・選考 結果通知 連絡先	<p>[応募方法]</p> <p>(1) 履歴書(形式自由、写真添付、連絡先・電子メールアドレスを記載)</p> <p>(2) 研究業績リスト(査読付原著論文、総説、解説記事、著書、招待講演、特許など)</p> <p>(3) 主要論文の別刷5編(講師)または3編(助教)以内(コピー可)</p> <p>(4) これまでの研究概要(A4、2ページ程度)</p> <p>(5) 今後の研究計画・教育についての抱負(A4、1ページ程度)</p> <p>(6) 応募者について照会可能な方(2名)の氏名・所属・連絡先</p> <p>(7) その他審査に役立つ情報(教育実績、学会・社会活動、獲得した外部資金(代表か分担かを明記)、受賞歴など)</p> <p>(8) 希望の職位(助教か講師か)を応募書類のどこかに記載ください。ただし、職位については相談の上とさせていただきます。</p> <p>応募書類は1つのPDFファイルにまとめ、以下のアドレスに添付で送信してください。その際、件名を「先進化学工学システム講座教員応募(氏名)」としてください。なお、受け取りの確認メール(受領後3日以内に発送)を必ずご確認ください。 E-mail: jinji2@material.nagoya-u.ac.jp</p> <p>下記にご郵送いただいても結構です。その際は印刷物一式と、そのPDFファイルを保存した電子媒体(CD-R、USBメモリ等)を一括して簡易書留としたものを応募締め切りまでに郵送のこと。封筒には朱書きで「先進化学工学システム講座教員応募書類在中」と記載すること。</p> <p>書類郵送先: 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科 化学システム工学専攻 専攻長 則永 行庸 宛 なお、応募書類(USBメモリを含む)は返却しません。</p> <p>応募締切: 2025年5月9日(金) 必着。適任者が決まり次第、募集を終了する場合があります。</p> <p>問い合わせ先: 名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻/工学部 マテリアル工学科 教授 則永 行庸 E-mail: norinaga.koyo.j4@f.mail.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-3618</p>
11	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書類審査の後、必要に応じて面接・プレゼンテーション審査を行います。 ・ 提出書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。 ・ 本学は積極的に男女共同参画を推進しています。 ・ 適任者がいない場合は、採用を保留することもあります。 ・ 安全保障輸出管理の「みなし輸出」の改訂に係る手続きについて <p>2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。</p> <p>これに伴い、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。該当者には後日連絡します。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</p>